CEOメッセージ

取締役
代表執行役社長 グループCEO　亀澤宏規

環境・社会課題解決への貢献

世界が直面するさまざまな環境・社会課題を解決するためのチカラになることは、金融機関としての大きな役割です。

気候変動対応へ注力

脱炭素化がもたらす世界的な産業構造の変化は、MUFGとお客さま双方において、事業継続上のリスク、成長機会の両面の意味合いを持っています。脱炭素社会へのスムーズな移行、環境と経済の好循環による持続可能な社会の実現をめざすため、2021年5月のカーボンニュートラル宣言以降、我々はかなりのスピードで気候変動への取り組みを進めてきました。2022年4月には、MUFG Progress Reportを公表し、投融資ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロに向けて電力および石油・ガスセクターの中間目標を発表しました。6月には、MUFGの国内全社の自社契約電力を100%再生可能エネルギー化しています。

カーボンニュートラルの実現には、自社のGHG排出のネットゼロのみならず、お客さまの脱炭素化支援が重要になります。お客さまごとに異なる課題やニーズを把握するために、これまで、国内外の約550社のお客さまとエンゲージメントを進めてきました。この活動を通じて把握したニーズに応えるために、GHG排出量可視化支援やTCFDコンサルティングサービス等、多様なサービスの拡充も同時に進めています。9月には日系企業の脱炭素化に向けた取り組みや日本のエネルギー政策を取り巻く環境などをまとめた「MUFGトランジション白書」を作成し、海外の政策立案者に対して意見発信を行っています。真にお客さまの課題に寄り添いながら、ともに脱炭素化に向けて進んでいきたいと思っています。

我々はグローバル企業の一員として、世界のイニシアティブに積極的に参画しています。その一つ、Net-Zero Banking Alliance（NZBA）においてMUFGは、アジアを代表するステアリンググループのメンバーとして意見発信を行っています。また、6つの作業部会にも参画しており、そのうちの一つで議長を務め、トランジションファイナンスの国際的な枠組み作りを行っています。

MUFGは今後も、お客さまとのエンゲージメントや脱炭素に向けた技術開発支援、ルール整備や事業化、マーケット創出等を通じて、世界の脱炭素化に貢献していきたいと考えています。

社会課題への対応

「少子・高齢化社会への対応」は、MUFGの事業活動との関連性が特に強い課題の一つです。世界でもトップレベルの高齢化率である日本の金融機関として、社会構造の変化に起因する課題の解決に貢献していくことは、我々の責務です。事業・資産承継、資産形成等のニーズへの対応を強化するとともに、高齢者にとってアクセスしやすいチャネル作りや、デジタルを活用したサービスの拡充に取り組んでいます。また、次世代を担う子どもや学生の健やかな成長を支援するため、進学意欲のある高校生や理系大学生向けの「あしながMUFG奨学基金」を創設するなど、ビジネス以外の分野においても社会貢献活動を積極的に行っています。

レジリエンスを身に付けるために

我々自身がレジリエントな組織でなければ、複雑化・多様化する環境・社会課題の解決に貢献し続けていくことはできません。そのためには、最重要資本の一つである人的資本への投資を通じ、社員が活き活きと働き、ステークホルダーへの価値提供力を高められる好循環を作ること、そして、さらなる「インクルージョン＆ダイバーシティ（I&D）」の推進が不可欠です。

かつてないスピードで事業環境が変化するなか、MUFGでは、変化に対応できる人材を確保していくために、挑戦・学びの機会提供を充実させるとともに、指定の資格取得に報奨金を出すデジタルスキル認定制度を実施するなど、変化を先取りして社員への投資を進めています。

また、環境変化に柔軟に対応するためには、多様な意見を取り入れることが欠かせません。女性登用では、国内女性マネジメント比率の2023年度目標を20%へ引き上げるなど、ある程度の進捗がありましたが、取り組みの実効性をさらに高めるため、今年度から役員報酬にI&Dの浸透・推進に関する評価項目を追加しました。

そして、ダイバーシティは属性に関するものに留まりません。一番重要なのは、イントラパーソナルダイバーシティ（個人の内面の多様性）を養うことです。社員一人ひとりがイントラパーソナルダイバーシティを1～2割増やせば、実質的な組織の多様性は飛躍的に向上します。

サステナビリティ経営の推進

我々は、「環境・社会が持続可能であって初めて、MUFGも持続的に成長できる」という認識のもと、環境・社会課題の解決と、経営戦略を一体と捉えて価値創造に取り組んでいます。さまざまな環境・社会課題への対応が重要となる変化の時代の中、MUFGに求められるものは、世の中への感度を高くし、変化の予兆を見逃さず、予想外のことに対応できる柔軟性を備えることです。

「世界が進むチカラになる。」というパーパスを体現するため、今後も、サステナビリティ経営を実践し、グループ・グローバル一体で持続可能な環境・社会の実現に貢献していきます。

今後とも皆さまのご理解と一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

取締役
代表執行役社長 グループCEO 亀澤宏規